

令和8年度 RSウイルス母子免疫ワクチン(RSウイルスワクチン) 接種のお知らせ

RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種についてお知らせします。接種を希望される方は、このお知らせをよく読み、かかりつけ医とご相談のうえお受けください。

本通知は、妊娠届出時の出産予定日を基にお送りしています。行き違いにより、流産・死産等のご事情のある方に届きました場合は何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

対象	接種間隔と回数	予防接種の対象となる病気と予防接種による副反応
令和8年4月1日以降に 妊娠28週0日～36週6日までの妊婦 ※接種後14日以内に出生した乳児における有効性が確立していないことから、出産を接種後14日以内に予定している場合は医師に相談してください。	妊娠ごとに1回	【RSウイルス感染症とは】 RSウイルスに感染することによって起きる呼吸器感染症です。2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染するとされており、特に生後6か月未満で初感染すると重症化する場合がありますと言われています。 感染すると、2～8日の潜伏期間のち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。 【母子免疫ワクチンとは】 生まれたばかりの乳児は免疫機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。 【副反応】 ワクチン接種後、副反応が現れる可能性があります。副反応として、接種部位の疼痛、頭痛、筋肉痛や紅斑、腫脹などがみられる場合があります。頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー（多くは接種後30分以内に現れる呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）がみられることがあります。このような症状が現れた時はすぐに接種した医療機関に申し出てください。

持ち物

- ① 八千代市の予診票 * 太枠内を事前に記入し受診してください。
- ② 妊娠中の赤ちゃんの母子健康手帳（双子など多胎妊娠の場合は、それぞれの赤ちゃんの母子健康手帳）
- ③ マイナンバーカード（マイナ保険証）や運転免許証など八千代市民であることを確認できるもの

接種場所

①八千代市内の定期予防接種委託医療機関

別紙「八千代市定期予防接種事業委託医療機関一覧」を参照してください。

②八千代市外（千葉県内）の医療機関

「千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度」により接種可能。

千葉県内で八千代市外の医療機関で接種をご希望の場合は、直接、接種を希望する医療機関に県内乗り入れ制度で接種可能か確認してください。

③千葉県外の医療機関

里帰り等の理由で、千葉県外の医療機関で定期予防接種を希望する方は、医療機関と八千代市で予防接種契約が必要になります。

接種を希望する医療機関へ契約が可能かご自身で確認の上、受診予定の3週間前までに母子保健課へご連絡ください。

なお、**償還払いには対応していません**。事前にご連絡なく接種された場合、**自費**での接種となります。

予診票

- ・必ず八千代市の予診票が必要です。※接種日時時点で八千代市に住民登録がないと八千代市の予診票は使用できません。
- ・紛失や里帰り等で予診票が手元がない方は、八千代市ホームページよりダウンロードし、使用してください。

費用

無料（公費）

※定期予防接種の該当週数外や指定医療機関以外で接種する場合や、**R8年3月31日までに接種された場合は、自費になります。**

接種前の注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。妊婦さんの健康状態が良好でない場合は、かかりつけ医等にご相談の上、接種するか否かを決めてください。

●次の方は接種に注意が必要です。

- ① 妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方。
- ② 血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を受けている方。
- ③ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等に関わる基礎疾患がある方。
- ④ 予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方。
- ⑤ けいれんを起こしたことがある方。
- ⑥ 免疫不全の診断がなされている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ⑦ 組換えRSウイルスワクチン（アプリスボ）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方。
- ⑧ 百日せきの抗原を含むワクチン（三種混合ワクチンなど）を同時接種する方。

●以下の状態の場合には**予防接種を受けることができません。**

- ①明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）がある場合。
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合。
- ③組換えRSウイルスワクチン（アプリスボ）の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合。
- ④その他、医師が不適当な状況と判断した場合。

接種後の注意事項

- ①接種後30分程度は注意深い観察が必要です。病院内でイスに座るなどして様子を見てください。
 - ②接種当日は、激しい運動は避け、安静に過ごしてください。
 - ③接種部位を清潔にしてください。接種した日に入浴しても問題ありませんが、体を洗う時に接種部位をこすらないようにしてください。
 - ④接種部位の変化、接種後の体調の変化に注意してください。
 - ⑤接種後、接種部位の異常や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常な症状がみられる場合には、速やかに医師の診察を受けてください。
- ※体調の変化等で他の医療機関を受診される場合は、母子健康手帳をお持ちいただくとともに、RSワクチンを接種したことをお伝えください。
また、接種した医療機関にも他の医療機関を受診したことをお知らせください。

予防接種後副反応と健康被害救済制度

予防接種副反応と健康被害救済制度については、市ホームページをご覧ください、母子保健課までご連絡ください。

問い合わせ先

八千代市 子ども部 母子保健課

住所：八千代市ゆりのき台2-10（八千代市保健センター内）

電話：047-486-7250

FAX：047-482-9513